

日時：平成 24 年 4 月 30 (月) 9 : 30 ~ 12 : 15

場所：アスト津 交流スペース 6 番

参加代表委員数：13 名、推薦委員数：1 名

1. 「三重県助産師会ロゴ」決定

ロゴは T シャツ・ウインドブレーカー・封筒等の配色等の相談も含め 6 万円で業者に依頼。  
ロゴの意味は「助産師の手で母子を援助します」ということをメインで伝えたい。

2. 報告 (加藤会長)

- 1). 日本助産師会総会時の「子育て女性健康支援センターみえの活動報告 ポスターセッション依頼について」正式依頼が文書で、3 日前に届きました。→ 足立が出席担当。
- 2). パンフレット「助産師が伝える災害時の知恵ぶくろ」社団法人日本助産師会発行 1,000 部届きました。必要な方お持ち帰りください。
- 3). 平成 23 年度「妊産婦・女性のための災害時支援対策事業報告書」10 部きましたので、代表委員に渡しました。(会長と専務理事、代議員と常務理事とで共有)
- 4). 不妊委員 (下村さん県庁転勤)の交代選出。年 2 回会議。 ( )
- 5). 不妊相談員募集の連絡あり。希望者無しで返事。

6. 次期会長の選出について (前回代表委員会にて未解決)

- ・ 推薦委員が井岡氏への打診。会長職は受けられないという返事。
- ・ 会長選出の方法は 3 つではないか。1 つは 立候補。2 つ目は推薦し選挙をする。3 つ目は会出席可能な者から割り当て選出。今可能な方法は分会で選出し、支える方法しかないのではないか？
- ・ 三重県助産師会の対外的なものとして、医師会との連携や意見表明のできる方が必要と考える。
- ・ 助産師会の信念をみな持っていると思うので、だれでもができるのではないか？
- ・ 代表委員会で同じ名前しか挙がってこない。総会で問う→総会に場をかえても同じだと思う。
- ・ 加藤会長続投賛成の意見が多い。
- ・ 会長就任当初から 2 年限定で受けたので、やはり趣旨貫徹でいきたいと肝に銘じている。  
あり得ない案として、2 年後の会長を受けてくれる方が決まるならば、加藤会長は 100 歩譲って続投も視野に入れて下さるとのこと。
- ・ 加藤氏は適任で譲歩案はとてもありがたいが、当初から 2 年任期と言われていたので、申し訳ない限りである。勤務部会は人数が多くても予算少なくメリットが少ないように思う。助産所部会で現在活動している方が三重県助産師会を引っ張って行って欲しいし、助産所部会からの会長が適任と考える。
- ・ 現段階では濱地氏は受けられないとのこと。(10 年後くらいならめどがつくだろう)
- ・ 全国の助産所や過去の助産所経営をみると、二人体制で乗り切っている。
- ・ 4 年後に鈴木さんが会長を受けてくださるのなら。その間の具体案が必要。
- ・ 2 年間で会長職を支える体制づくりが必要。
- ・ 副会長からあがる方法もいいかもしれないが、一つのことを体系づけていくときに 2 年では短く、助産師の職能団体して考えると 2 年で交代は望ましくない。
- ・ 助産師会は助産師自身が守っていかなければならない。
- ・ 加藤会長続投を本当に嬉しく思う、会長を支えるために副会長 2 席体制にする。
- ・ 鈴木氏の意見：助産所ひまわりのシステム変革をしなければ、今の状態では会長職をうけられない。その準備には 2 年ではできかねると思う。4 年後には受けられるように体制作りをしたい。

- ・ 会長になっても時間的に束縛されるのはごくわずかである。すべてのことが会長のみではなく、皆と助け合い、支え合い続いていくのである。
- ・ 開業者であり、お産を受けているというということは、体は空いていても空いていない状況である。「お産を受けている」の責任ははかりしれない。
- ・ 鈴木氏は、会長職ができるにちがいないと思うが、助産所をどうするか？が問題
- ・ 今年度から副会長を2席体制として、会長代理出席でよい会議出席の負担を減らす。
- ・ 加藤氏続投で、2年後に現副会長の日沖氏が会長を受けてもらい、副会長を鈴木氏にさせていただき、2年後に鈴木氏に会長をしてもらう。
- ・ 所事情を考慮し日沖氏が受けてもらえないか？→受けられませんとの返答。
- ・ 浅井氏は2年を繋いでもらえませんか？→血圧が上がっている。年齢的にも受けられません。
- ・ 山本久代氏は6年職能理事なので、上司の理解も必要で、山本さん個人で決められない。
- ・ 森田氏はいかがでしょう？→分会のことも今回くじで決められた状態で無理。
- ・ 鈴木氏を4年後にではなく、2年後に会長を受けてもらいたい。→受ける自信がない。
- ・ 会長には適正がある。
- ・ 井岡氏に会長がダメなら副会長は受けてもらうようお願いする。
- ・ 太田氏は地区研修会の実行委員長を受けてもらわなければならない
- ・ がっちりとみんなで支えて2年後に会長を鈴木氏に受けてもらいたい。
- ・ 2年で個人の助産師とどう体制をくむのか？嘱託医との契約はどうするのか？など未知数で、「受けます」とはいえない状況とのこと（鈴木氏）。
- ・ 加藤会長は退任と思っていたので、介護の方の来年度の三重県での教育委員長を受けることにしてあるところに、あり得ない決断で続投案を出したのだから、皆さんももう少し寄り添ってください。（加藤氏の意見）
- ・ このまま総会にもっていくのであれば、代表委員会の責任であるから、それはできない。
- ・ 再度はがきで会員の意見を聞くことはアクションを起こしていないので、有効とは思えない。
- ・ 一見氏の選管の任期はいつか？一見氏はどうか？→まだ任期中。

【結論】 冷却期間において、この空気と加藤会長の続投案も視野に入れ少しずつ歩み寄りして今後の打開策を次回会議で検討することとなった。

【提案】 推薦委員の役割を明確にする。

## 7. 子育て・女性健康支援センターみえの今後の方向性について

本部から子育て・女性健康支援センター運用マニュアル2012改訂版が作成され、今までの活動形態から拠点を設置して、電話も独自の電話を持つ方向性を提示されました。が即決できる問題でもなく、今後の取り組みについて来年度代表委員会での検討事項として総会で報告する。

## 8. 次回臨時代表委員会第2回開催日について：代議員数3分の2以上（8名）をもって成立。

5月13日 午前都合つけて出席してください。9:30~12:00 アスト津 交流スペース

### 【感想】

今回の会長選出の検討会議を通じて代表委員の皆様はみんな精一杯、三重県助産師会のことを考え支え、自分の出来ることをできる範囲でしていこうという姿勢なんだなぁと痛感しました。よりよい会を作りあげていくためにも今一步寄り添い向上していく情熱を今後もよろしく願います。

記録：常務理事足立裕子